

第18回 農業高等学校生意見文全国コンクールの意見文募集について

主催 日本農業教育学会

【趣旨】

本コンクールは、農業や農業関連産業の後継者・従事者として、また農業指導者や農業に対するより良い理解者として我が国の農業を支えることが期待される農業高等学校生を対象に、農業および農業を取り巻く様々な環境に対する思いを意見文にまとめることにより、農業に対する意識を高めるとともに、学校生活や勉学の一層の充実を期して開催するものです。多数の応募をお待ちしています。

【対象者】

日本学校農業クラブ（FFJ）に加盟する全国の農業高等学校、農業関連学科および総合高等学校に所属する FFJ 会員の高等学校生を対象とする。

【応募の方法】（日本農業教育学会のホームページを参照のこと）

応募の手続き

応募期間内に、下記コンクール事務局あてに「応募用紙」および「意見文原稿」を電子メールの添付ファイルとしてお送りください。受理確認の電子メールを事務局からお送りしますが、応募してから数日経過しても受理確認のメールが届かない場合には、コンクール事務局までご連絡ください。

注意事項

1. 原稿には、学校名、所属学科、学年および氏名を記入してください。
2. 原稿をワープロソフト「MSワード」で作成してください。
3. 書式は、A4 横書きで、45文字×30行（11ポイント）とし、概ね3,000字とします。
4. 応募用紙には、テーマ、応募者の氏名、学校の名称、所属学科名、学年、学校の所在地（住所、電話番号、ファックス番号）、指導教員名、メールアドレスを記入してください。なお、応募用紙のフォームは、日本農業教育学会のホームページに掲載されています。
5. 本コンクールでは一個人の作品だけでなく、仲間たちとの取り組みを一個人として発表する作品や、共同研究による連名での作品も認めます。しかし、仲間たちとの取り組みを一個人として発表するときは仲間への感謝の念や謝辞などを、また共同研究による連名での作品のときは、研究仲間への感謝の念や謝辞などは不要でも、各自の役割分担や寄与度を文中に必ず記載しなければなりません。

【課題】

テーマは自由とします。将来の夢、農業、エネルギー、環境など、高等学校生活を通して学んだことや考えたことなどを意見文としてまとめてください。なお、最初に必ず課題（テーマ）を書いてください。

【応募期間】

令和2年7月6日（月）～9月11日（金）、令和2年9月11日（金）必着

【審査】

審査委員長：石井孝昭（元京都府立大学）

審査委員：神田啓臣（秋田県立大学），中野忠雄（長岡農業高校），井上博茂（京都大学）

審査の基準としては、課題と内容が合致しているか、文章に論理性や説得力があるか、農業高等学校生の内容として適切か、意見に建設性があるか、将来への熱意が感じられるか、などです。審査結果を、10月下旬に電子メールでお知らせいたします。

【表彰】

最優秀賞1名および優秀賞1～3名を選出し、日本農業教育学会長が表彰します。受賞者には、賞状および記念品を贈呈します。また、受賞作品を日本農業教育学会誌に掲載します。

【意見文コンクール事務局】

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院農学研究科 井上博茂

電話：075-753-2256，ファックス：075-753-6473，E-mail：inohiro@kais.kyoto-u.ac.jp

なお、問い合わせについては、原則として電子メールにてお願いいたします。